

項目	内 容	学 力	主 体 性	協 調 性	社 会 性	生徒(334名)			保護者(391名)		
						卒業までに (A)	今の段階で (B)	(A)-(B)	卒業までに (C)	今の段階で (D)	(C)-(D)
4	進路実現に必要な知識・技能	○				3.47	2.32	1.15	3.55	2.36	1.19
6	自分の考えを相手に正しく伝える力	○			○	3.50	2.49	1.01	3.58	2.42	1.16
3	文章を書く力	○				3.38	2.44	0.94	3.36	2.49	0.87
19	他者と積極的に話をする力		○	○		3.49	2.55	0.94	3.48	2.75	0.73
22	困難に立ち向かう力		○			3.45	2.52	0.93	3.61	2.35	1.26
18	状況に応じて適切に判断する力	○			○	3.58	2.69	0.89	3.58	2.55	1.03
13	目標に向けて努力する力		○			3.51	2.66	0.85	3.60	2.57	1.03
7	相手の話を理解する力	○			○	3.60	2.75	0.85	3.57	2.67	0.90
11	自分が今すべきことを考える力		○			3.54	2.69	0.85	3.62	2.50	1.12
23	コツコツと物事に取り組む力		○			3.52	2.67	0.85	3.56	2.51	1.05
24	自分らしさを表現する力	○	○			3.43	2.62	0.81	3.52	2.53	0.99
2	漢字を読み書きする力	○				3.44	2.65	0.79	3.44	2.77	0.67
5	相手の立場に立って考える力	○		○		3.47	2.69	0.78	3.59	2.83	0.76
1	計算力	○				3.21	2.44	0.77	3.42	2.69	0.73
12	周りに迷惑をかけないように行動する力				○	3.53	2.76	0.77	3.66	2.91	0.75
10	自分のことは自分でやる力		○			3.57	2.81	0.76	3.63	2.75	0.88
17	相手の話を聞く力			○	○	3.56	2.86	0.70	3.61	2.63	0.98
20	時間を守る力				○	3.58	2.94	0.64	3.71	2.84	0.87
8	仲間と協力して取り組む力			○		3.40	2.77	0.63	3.56	2.93	0.63
21	自分からあいさつをする力		○			3.41	2.78	0.63	3.64	2.92	0.72
16	相手の注意を素直に受け入れる力			○	○	3.47	2.85	0.62	3.60	2.67	0.93
9	相手を思いやる力			○		3.51	2.90	0.61	3.63	3.11	0.52
14	ルールを守る力				○	3.57	3.02	0.55	3.64	2.96	0.68
15	マナーを守る力				○	3.56	3.05	0.51	3.64	3.00	0.64

平 均	3.49	2.71	0.79	3.58	2.70	0.88
-----	------	------	------	------	------	------

(なりたい自分) (自己肯定感) (将来の期待) (現状評価)

→ 「平均」の1.1倍以上
→ 「平均」の0.9倍以下

学力	3.45	2.57	0.89	3.51	2.59	0.92
主体性	3.49	2.66	0.83	3.58	2.61	0.97
協調性	3.48	2.77	0.71	3.58	2.82	0.76
社会性	3.55	2.82	0.73	3.62	2.74	0.88

【分析・総括】

「(A)-(B)」の値(生徒が感じているギャップ)を降順で並べた結果が上表となる。

生徒・保護者ともに『進路実現に必要な知識・技能』を重要視しているのは当然の結果と言えるが、保護者が最も重視しているのは『困難に立ち向かう力』であり、本校で定義している4つの資質・能力においては「主体性」に分類されるものである。

それに加えて、表の下部にある資質・能力別の平均値では生徒が最優先に考えているのは「学力」だが、保護者のそれは「主体性」となっている。学校生活に限らず、家庭での言動を含んだ「一人の社会人として」の自立を望んでいると推察される。

また、学校生活に関するアンケート(ASSESS)の結果にも表れているように、他者と関わり合うことが苦手である本校生徒にとって、自尊感情・自己有用感を高めることは主体性を身につけることにつながり、それによってより積極的な人生を送ることが可能になると考えられる。